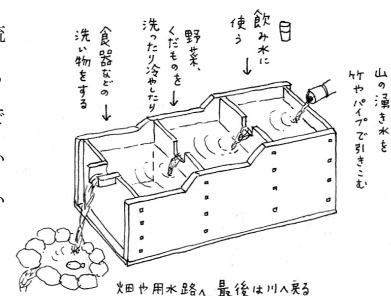


水は使い分けるのがあたりまえ。その街は、黙ってそう教えてくれました。



岐阜県郡上八幡。400年前に生まれた水の使い分けシステム『水舟』。

岐阜県のほぼまんなか位置する山あいの街、郡上八幡。吉田川と小駄良川、ふたつの清流が街中を流れ、水路がはりめぐらされた水の街。『水舟』は、400年以上前に生まれ、いまでも地域によって毎日使われている水の使い分けシステムです。山の湧き水をそのままパイプで水舟まで引き、上段は飲み水に。中段は野菜や果物を洗ったり冷やしたり。最後は食器洗いに。水をむだにせず使い分ける知恵が生きています。大地から授かった水を、みんなでだいに使う。そんな考えが、この街に暮らすひとびとの心にしぜんに根づいているのです。



その知恵と心、わたしたち大和ハウスグループのお手本です。

社会と共に生きること。自然と共に生きること。ひとびとと共に新しい暮らしのかたちや価値を創ること。そんな「共創共生」の精神をもつ大和ハウスグループにとって、『水舟』のある暮らしはまさにお手本です。住宅事業をはじめ、商業建築、ホテル・リゾート、医療・介護など、幅広い事業で社会に貢献したい。大和ハウスグループ35000人の思いはひとつです。

共に創る。共に生きる。

We Build Hearts



Daiwa House®
Group